

## 2006年度ナショナルチームにおけるランキング制度

### I. 目的

強化対象オリンピック艇種およびその他のオリンピック艇種の選手を対象に2006年度世界選手権大会（V. その他4. 「世界選手権が開催されない艇種の取り扱い」を除く）の成績で、2007年度事業における艇種別ランキング、個人別ランキングを明確にし、それを基に2007年度NT数、強化費およびその他の補助の算定基準とし、選手強化を図ることを目的とする。

本ランキング制度は、2008年世界選手権大会まで継続する。ただし係数等で問題があるとオリンピック特別委員会が判断した場合は変更する場合がある。

### II. ランキング区分

2006年に実施される世界選手権大会の成績順位を基に艇種別ランキングおよび個人別ランキングを決定する。

#### 1. オリ特設定の基準値

ランキングシステムにおいて以下の特 A、A、B、C 区分を設け、該当する基準値を以下の通りとする。

特 A：国別順位 8 位以内

A：総合成績 15 位以内または国別順位 10 位以内

B：特 A、A、C ランク以外

C：下記に該当する成績のいずれかを取得した場合

総合成績 45 位以下、国別順位 30 位以下、総合成績が参加艇数の 54% 以下

#### 2. 艇種別基準値

上記オリ特設定の基準値を基として北京オリンピック参加国枠から各艇種毎の数値基準（艇種別基準値）を設けランク付けを行なう。

#### 3. 参加国数による艇種別北京国枠比率

(1) 北京オリンピック艇種別参加国枠数を基準とし、ランク判定の2006年度世界選手権大会の参加国数が北京オリンピック参加国枠数を下回った場合は艇種別北京国枠比率（以下、区枠比率）

【参加国枠数/参加国数：小数点第3位を四捨五入】を適用する。

【例1】

北京オリンピック参加国枠数 30

2006年世界選手権大会参加国数 35  $\Rightarrow 35 \div 30 = 1.16$  であり国枠比率 1 として評価

【例2】

北京オリンピック参加国枠数 30

2006年世界選手権大会参加国数 20  $\Rightarrow 20 \div 30 = 0.666$   $\Rightarrow$  国枠比率 0.67 で評価

(2) 国枠比率が 0.5 未満の場合、判定対象大会としない。

(3) 国枠比率は対象大会の公式成績確定後「オリ特」が決定する。

#### 4. 艇種別ランキング

各艇種の中で最上位の成績を収めた選手のランキングをそのクラスの艇種別ランキングとする。同一クラスで多数の艇が参加した場合でも、その艇数は評価基準に含めない。

#### 5. 個人別ランキング

各選手の世界選手権大会（ランキング判定の大会）の成績からランキング付けを行なう（添付ランキングシートに入力）

個人別ランキング判定に当って、同一ランク内では以下の順序でランク内順位を決定する。

特 A および A：①国順位

②総合成績

③判定係数＝順位係数、国順位係数、参加国係数、順位係数×国順位係数×参加国係数、ランク係数によりもとめる。

B および C :

①国順位

②総合成績

③判定係数＝順位係数、国順位係数、参加国係数、順位係数×国順位係数×参加国係数、ランク係数によりもとめる。

## 6. ランキング判定に使用する成績等

(1) ランキング判定に際しての参加艇数、総合成績、参加国数は最終成績確定後の数値を使用する。

(2) 参加艇数：全レースDNCの艇は参加艇数に含めない。

(3) 国順位：日本艇第1位の国順位はIOCの定める国順位とするがオリンピックホスト国（中国）が上位に位置した場合は国順位に含めるものとする。

日本艇第2位以降の国順位は、IOCの定めるその艇の直前の艇の国順位プラス1とするがオリンピックホスト国（中国）が上位に位置した場合は国順位に含めるものとする。

## Ⅲ. 対象種目

2006年度ナショナルチームランキング制度対象種目は以下の通りとする。

### 強化対象オリンピック艇種

1. 470級男子
2. 470級女子
3. レザー級男子
4. レザーラジアル級女子
5. ウィンドサーフィンRS-X級男子
6. ウィンドサーフィンRS-X級女子
7. 49er級

### その他のオリンピック艇種

1. イングリング級
2. スター級
3. フィン級
4. トルネード級

## 2007年ナショナルチーム（NT）数

別紙「2007年度ナショナルチーム（NT）数基準」 参照

## Ⅳ. ランキング制度に基づく補助

艇種別ランキングおよび個人別ランキングにより、オリ特委員会は2007年度事業の補助内容を決定する。同一ランク内に複数の艇種および個人がランク付けされた場合はランク内順位で補助内容を決定する。

なお、世界選手権大会の成績で、ランクCに該当した選手については、その後当該事業年度内（2006年度）強化事業における補助内容を削減する場合がある。

### 1. ランキングによる補助内容

- (1) 国内/海外強化事業の補助内容
- (2) ロジスティック、車両支援等の優先順位
- (3) 航空券支援等の優先順位
- (4) その他

\* 詳細は各事業ごとに別途決定する

2. 特 A および A ランク選手の取り扱い

特 A および A ランクを獲得した選手は 2007 年度ナショナルチームとして認定し、優先的に補助を行う。

「2006 年度世界選手権大会において A ランク以上に該当した場合」

(1) 2006 年度ナショナルチーム選手

： 2007 年度ナショナルチーム選手として認定する

(2) 2006 年度ナショナルチームとして認定されていない選手

： 2006 年度ナショナルチーム選手として追加認定

： 2007 年度ナショナルチーム選手として認定する

V. その他

1. 2006 年度ナショナルチームとして認定されていない選手および艇種について

2006 年度ナショナルチーム以外の選手が世界選手権に参加した場合はその成績を基にランキング判定を行なう。別紙 2007 年度 NT 数の基準「追加割り振り（入れ替え制度）」に該当し、且つ艇種別協会の要請があった場合は、本ランキングシステムによりランキングを決定する。

2. ランキングを判定する時期について

ランキングを判定する時期は、全てのランク判定大会（世界選手権）終了後でオリ特がランキング判定を終了した時点とする。IV. **ランキング制度に基づく補助**については原則次年度からとするが、ナショナルチームとして認定後の当該年度強化事業についてオリ特委員会が認めた場合、補助対象とする場合がある。

3. 「世界選手権が開催されない艇種の取り扱い」

自己の理由によらず、開催国の治安状況の悪化、自然災害等により世界選手権が延期または中止され 2006 年度中に開催されない場合、もしくは北京オリンピック特別委員会が世界選手権派遣中止を決定した場合、ISAF グレード 1 以上の大会で且つ北京オリンピック特別委員会が認めた大会においての獲得成績が II. 2 記載の B ランク以上に該当した場合、且つ艇種別協会の推薦があった場合にナショナルチームとして認定し本ランキングシステムを適用する。

ただし対象大会の参加艇数・参加国数が発表された時点で、II. 3 記載の国粋比率を決定すると共にその大会のレベルに当たる大会グレード値（0.6～0.8）をオリ特委員会が決定し判定する。

以上